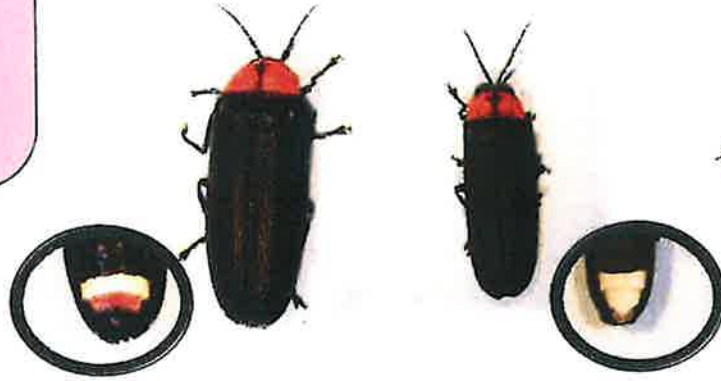


ゲンジボタルの生態

ゲンジボタルはきれいな水の流れる所に棲息しています。しかし、餌となるカワニナは必ずしもきれいな川にいるわけではありません。ボタルは「里につく虫」と呼ばれ昔は身近な場所でたくさん見ることができました。ボタルがいることは身近な自然が豊かであることを意味しているのです。身近な環境を大切にしましょう。

成虫は1日中くらいしか活動することができません。その間にオスとメスが抱き合えるように一生懸命光って相手を探しているのです。

成虫の飛翔
5月中旬～6月上旬



メスは16mm～20mm 発光器は1節、オスは1まわり小さく発光器は2節

川辺のコケに産卵

6月上旬～



発生の進んだ卵

7月上旬～



孵化した1齢幼虫

カワニナの中に頭を突っ込み
消化液を出して貝の肉を溶かして食べます



3月下旬～



脱皮直後の幼虫



終齢幼虫

羽化は5月中旬～



土の中の蛹

4月～5月



ボタルの仲間は日本に約40種、世界には2000種が知られています。幼虫時に水中で生活するゲンジボタル、ヘイケボタルは世界的にも珍しい、貴重な昆虫なのです。

